

立命館大学関係者の皆様

新緑のまぶしい季節となりました。京都では観光客が増えてコロナ禍から回復の兆しが見えはじめ、大学キャンパスも活気を取り戻し始めています。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

さて、20 年以上にわたり立命館大学の考古学・文化遺産専攻で教鞭をとられた矢野健一先生が、2025 年の春に退職されることとなりました。ところで、2023 年度より、立命館大学考古学論集と年報 Digging Up を合わせた内容で、『立命館大学考古学研究報告 Digging Up』を研究室の紀要として刊行することになりました。そこで、立命館大学考古学研究室では、感謝の気持ちを込め、この紀要の 2 号において「矢野先生退職記念号」を特集することになりました。皆様には、ぜひともご寄稿を賜わりたくお願い申し上げます。記念号は、ご寄稿いただく研究論文と回想文で構成される予定です。また、原稿の締め切りは 2024 年 3 月となります。まずは、ご寄稿いただける方にエントリーをしていただければ幸いです。ご多忙のところ恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

・ エントリー締め切り：2023 年 8 月 31 日

・ 連絡先：rits_arc.kiyou@hotmail.com（立命館大学考古学・文化遺産専攻紀要事務局）

・ 記入事項

- ① 氏名、②メールアドレス、③電話番号、④郵送先住所、
- ⑤研究論文／回想文の選択（どちらか片方を選択してください）
- ⑥仮タイトル(論題)

呼びかけ人 木立雅朗、長友朋子、岡寺良